

学校マネジメント研修のまとめ

令和2年8月3日（月）に、管内の小学校で「学校マネジメント研修」を開催しました。

本研修会では、別府教育事務所と当該小学校職員が協働して思考ツールを使いながら「学校の教育目標の見つめ直し」を行いました。それに基づいて重点目標を再度検証しながら、学校評価の4点セットの共有を徹底するとともに検証・改善サイクルが有機的に行われ、成果に繋がるイメージを持てるよう研修を行いました。

本研修会の概要を紹介します。

<目的>

〇〇小学校の全職員を対象に、9つのマトリクスごとの課題等を洗い出す演習を通して、「学校の教育目標の見つめ直し」「学校評価の4点セット共有の徹底」の充実を図る。

<会場>

〇〇小学校 音楽室

<参加者>

〇〇小学校全職員 13名

<内容>

【演習(前半)】「学校の教育目標の見つめ直し」

- ① 学校の現状の洗い出し(『知』についての「課題」「その理由」「考えられる改善策」「具体的な資質・能力」を付箋に書く。)
- ② 資質・能力の三つの柱ごとに分類し、模造紙に貼る。
- ③ 同様に『徳』『体』についても①②を行う。
- ④ 校長先生より「経営ビジョン・方針等」を語っていただく。
- ⑤ ①～④より、「育成を目指す子ども像」を3つの「資質・能力グループ」ごとに出し合う。
- ⑥ ⑤より学校の教育目標の見つめ直しを行う(子ども像と教育目標の関連づけ)。また、全職員で、「学校として育成を目指す資質・能力」も見直す。

【演習(後半)】「学校評価の4点セットの共有徹底」

- ⑦ 「資質・能力グループ」毎に、重点目標の見直しを行う。
- ⑧ 「知・徳・体グループ」毎に、重点的取組を出し合い、学校、家庭、地域がすることに分類し模造紙に記入する。資質・能力の三つの柱ごとに、ペンの色を変えて記入する。
・各自の教育実践の取組イメージ、授業改善イメージ、家庭・地域との協働イメージ等を発表し合う。

<内容の詳細>

【演習（前半）】「学校の教育目標の見つめ直し」

①～③学校の現状の見直し

・9つのマトリクス提示、説明

1つのマトリクスに対して、「課題」、「その理由」、「考えられる改善策」、「具体的な資質・能力」等を教員一人一人の視点からできるだけ多くランダムに出してもらいました。（ブレイン・ライティング法）

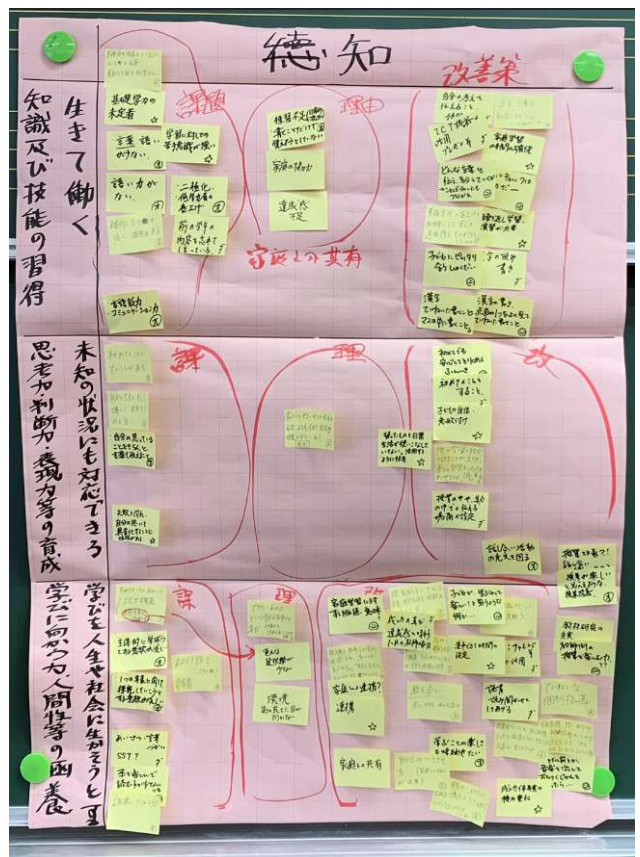
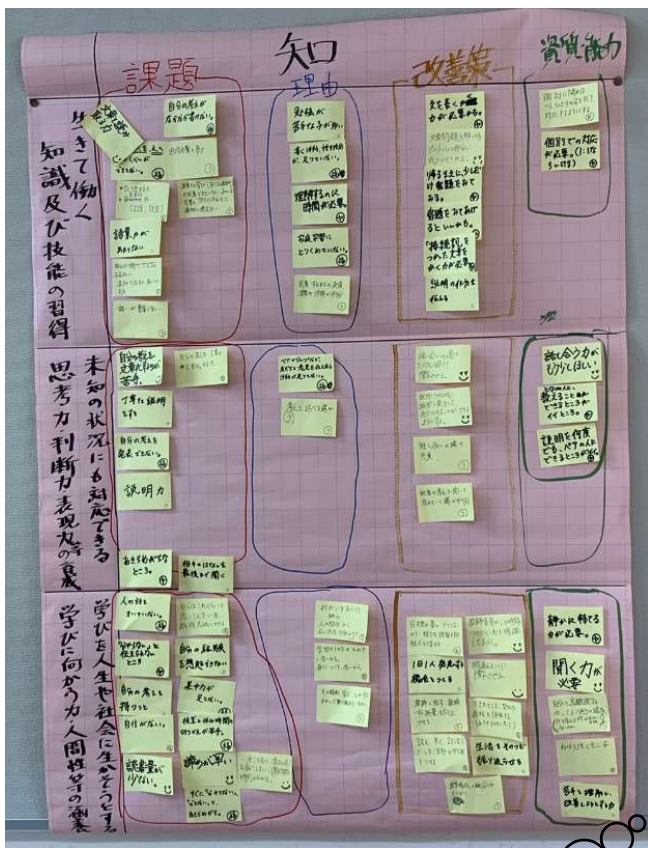
『知』→『徳』・『体』の順で行いました。

↑ ブレイン・ライティングシート

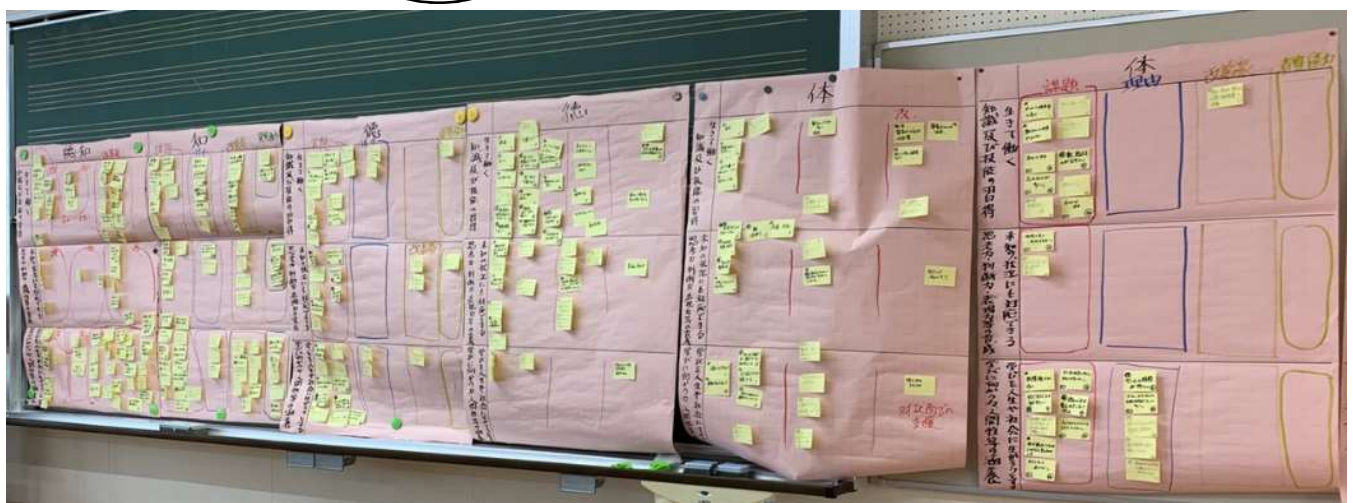
↓ 2つのグループに分かれて、付箋に書き、ブレイン・ライティングシートに貼っているところです。



「知・徳・体」から「資質・能力」という考え方にまだ慣れないなあ……。 A先生



話し合い活動や相手理解のための取組がより大切だなあ・・・ B先生



↑ 2つのグループからたくさんの意見が出ました。たて（知・徳・体）と横（資質・能力の3本柱）で俯瞰的に見ていくと、共通の課題や改善策が明確になりました。

④校長先生に「経営ビジョン・方針等」を語っていただきました。



⑤「育成を目指す子ども像」創出

3つの「資質・能力グループ」に分かれ、資質・能力の三つの柱で具体的にどんな子どもを目指すのか「育成を目指す子ども像」を出し合いました。

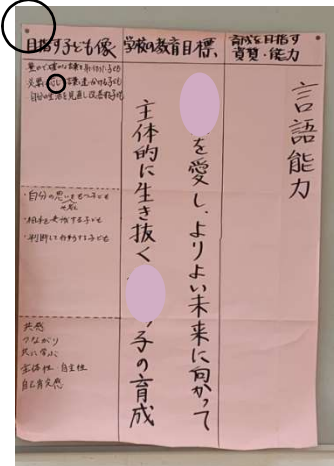
職員一人一人から出されるほどに、より効果のある学校教育目標ができるのだなあ。D先生

「資質・能力」とは？
学習指導要領を見直さなければ・・・。
C先生

⑥学校の教育目標の見つめ直し

・全職員で「育成すべき資質・能力」とともに見直す。

「学校の教育目標」と「目指す子ども像」がどう関連しているかを出し合い、育成を目指す資質・能力との関連についても考えました。



【演習（後半）】「学校評価の4点セット共有の徹底」

⑦「資質・能力グループ」毎に、重点目標の見直しを行いました。

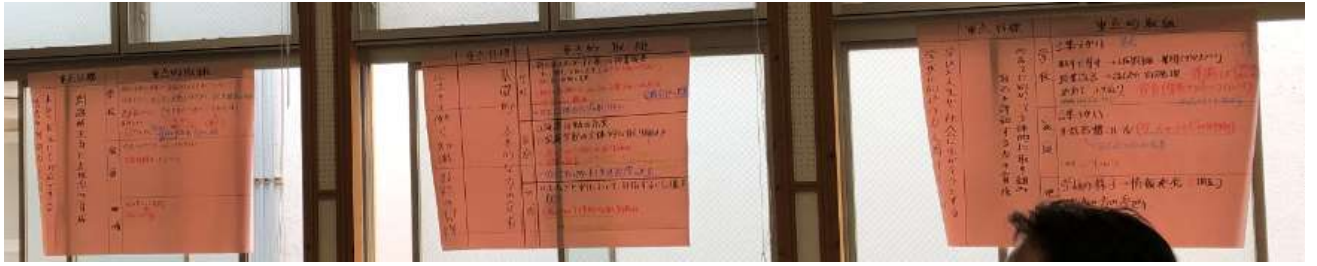
⑧「知・徳・体グループ」毎に、重点的取組を出し合い、学校、家庭、地域がすることに分類し模造紙に記入しました。資質・能力の三つの柱ごとにペンの色を変えて記入しました。

「知識及び技能」→「思考力・判断力・表現力等」→「学びに向かう力・人間性等」

すべてのことに必ず目的があるんだなあ・・・。
F先生

改善点が実態をもとに明らかになり、改善の視点が明確となった。
E先生

- ・各自の教育実践の取組イメージ、授業改善イメージ、家庭・地域との協働イメージ等を発表し合いました。



たくさん出された意見を焦点化し、優先して取り組むべき内容を、共通理解のもと決定していかなければ・・・。

G先生

家庭や地域に関わる取組では、協働するのに工夫が必要！！

H先生

板書の検証は自己研鑽につながっているなあ。

I先生